



独学とハサミは使いよう

「何」を「どう」学習するか

沖縄翻訳セミナー
2004年11月27日



翻訳学校は本当に必要？

- 翻訳学校に行けば「できるようになる」というウソ
- 第一線で活躍する実務翻訳者で、翻訳学校からスタートした人は少ない
- 千人に一人？機能していない「学校」
- 翻訳は主体的に行動する人にしかできない
- やはり、最終的にはあなた次第



独学でもレベルアップは可能

- 翻訳会社のトライアルを闇雲に受ける！？
 - 評価がなければ意味が無い
 - プロでも合格しない謎
- 他力本願からの脱却
- 下積み生活を覚悟する
- 身銭をきる人は上達する
- 金目当ての人は長続きしない



Input – Process - Output

- Input – 基礎となる語彙や表現の知識
 - まずは読書から 精読 / 乱読
- Process – 原文の論理を整理する能力
 - 名訳を読む
- Output – 適切な日本語で表現する能力
 - 自分の訳文をリライトする - 和文和訳



読書の重要性

- 言葉の土台を築く：質の高い文章を読む
- 借りないで、買う
- 参考にしてはいけな文章
 - 公用文書
 - 学術論文
 - 新聞



サンプルA : 和訳トライアル

- ...the former chief executives of Enron and WorldCom, who have come to symbolize corporate corruption,
- 組織の腐敗を象徴してしまったEnronとWorldcomの元最高責任者...(Aさん)
- 大手企業の不正を象徴するエンロンやワールドコム
の元取締役ら...(Bさん)



サンプルA : 試訳

- ...the former chief executives of Enron and WorldCom, who have come to symbolize corporate corruption...
- 今や企業腐敗の象徴と化したエンロンとワールドコム
の元最高経営責任者らは...(試訳)
- ...who have come...が読めない。これは翻訳以前の
問題で、英語力が欠如している証拠！読書
が足りない。



生きた翻訳を読む

- へたな通信教育よりも、名訳を読む
- 最初は短編から
- 自信がついたら長編にチャレンジ
- 悪訳警報！「アホでマヌケな似非訳者」
- 訳文のリズムと流れに注目する
- 訳し方は千差万別
 - Jay Rubin, Alfred Birnbaum, Philip Gabriel



名訳を読む：訳文のリズムと効果

- サンプル: The Old Man and the Sea
- 基本はFIFO (First In, First Out)方式。頭から訳すことで、原文の流れを損なうことなく再現できる。
- リバースと「ちゃんぷるー」方式: 経験を積むと、訳文を全体的に捉える能力が備わり、文意をより正確に再現するために原文を配置転換することができる



日本語に敏感になる

- 修飾の順序
- 句読点の使い方
 - 本多勝一『日本語の作文技術』
- 漢字と仮名と使い分け
- 論理的なだけでなく、わかりやすい文章を書く



日本語のリライト

- 時間をおいて、冷静な目で訳文を見直す
- プロでも「完璧な仕事をした」と胸を張って言える人は少ない
- 和文和訳を甘くみてはいけない
 - 因果関係や言葉の「連携」を再検証する
- 流麗な日本語を書くことは、ある意味では翻訳よりも難しい



情報収集の技術

- 高度な検索技術は数冊の辞書に匹敵する
- Googleは文法チェッカーにもなる
- 疑問に思ったらすぐ確認。Robert Shock の謎
- 大学の図書館を利用する
- 国立国会図書館の複写サービスを利用する
- 古本を購入する



業界について情報を得る

- 翻訳協会に入会する
- メーリングリストを読む
 - JAT, JTF, Honyaku, 翻訳パラダイス, 翻訳の部屋
- 翻訳ポータルサイトにアクセスする
 - e-翻訳ポータル, 産業翻訳の基本がわかるWebzine, Proz.com, Translation Journalなど
- 翻訳イベントに参加する



著作権が切れた作品を翻訳する

- Project Gutenberg
- 青空文庫に訳文を提供する
 - 無名の訳者でも、自分の翻訳について無償で批評してもらえる。ただし、批評者は不特定多数であり、いいかげんな指導をされる可能性もないとは言えない。



翻訳者の表象：「良い」翻訳とは？

- This is the way the world ends
Not with a bang, but a whimper
 - T.S. Elliott, *The Hollow Men*
- A：これが世界の終わりのすがただ
ドンともいわないで、すすりなきのひと声で
- B：これでこの世はお終いだ
バーンと終わらぬ めそめそと
- C：このように、世界は音を立てながら突然に終わってしまうのではなく、啜り泣くように静かに滅びていく



事象そのものへ

- プロと呼ばれる翻訳者になるには？
 - 自分で考える
 - とともに考える
- 英訳にも挑戦する
 - 自分の可能性を押し広げる
 - 英語を書くことで新たな発見がある(和訳が上達する)
 - 自己批判を忘れない
- 事象(原文)そのものへ